

町の交差点



健康と食について考える良いきっかけに…

花散らしの冷たい雨が降る3月24日、寿命区公民館では「済生会 福岡第二病院」の医師・検査技師・看護師・管理栄養士・事務員の16名の方々による健康教室が開催されました。最初の健康教室では、身体測定、血圧、血糖値や骨密度検査など数種類の検査と、健康相談や医師による医療相談が行われました。あいにくの天気にもかかわらず、45名の地域の方々が参加され、その場ですぐに出る各検査結果に一喜一憂する様子も見られました。検査終了後は、町の管理栄養士の指導で食進会の皆さんが調理した減塩健康食の試食講習会を兼ねた交流親睦会が行われました。酢、香辛料、粉チーズや薬味、そして出汁を上手に使うことで減塩食でもとても美味しく食べられることに納得。地域の親睦も深まり、この地域でいつまでも健康で楽しく暮らすため、その基本“健康と食生活”について見直す良いきっかけになりました。

新 飯塚地区交通安全協会 一年生にランドセルカバーを寄贈

今年も、飯塚地区交通安全協会（会長 江藤雅之）では「子どもたちが安全に登下校を行う手助けになれば…」と、この春、小学校に入学する児童全員に黄色いランドセルカバーを寄贈しました。約20数年続く交通安全協会の取り組みにより、今では黄色いランドセルカバーは新一年生のシンボルとなっています。“ドライバーの皆さん！”黄色のランドセルカバーや子どもたちの姿を見かけたときは、更なる安全運転への心がけをよろしくお願いします。



▲ 穂坂教育長（右）に黄色のランドセルカバーと誘導旗を渡す飯塚地区交通安全協会 江藤会長（中央）と桂川支部長 久木田さん（左）



▲ 寄贈された防犯ブザーを手にする桂川小学校 本田校長（中央）と桂川ライオンズクラブの大家会長（左）と中島さん（右）

新 桂川ライオンズクラブ 一年生に防犯ブザー等を寄贈

4月5日、桂川ライオンズクラブ（会長 大塚盛利）が、桂川小学校、東小学校を訪れ、この春入学する新一年生に「防犯ブザーと連絡帳カバー」を寄贈しました。また、今年が“桂川ライオンズクラブ創立30周年”となることから、その記念事業の一環として、町に「図書カード」を寄贈いただきました。様々な奉仕活動を通して、住み良い町づくりに貢献いただいている桂川ライオンズクラブに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。